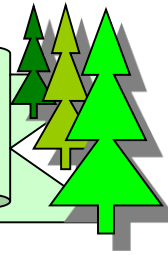


# 街路樹



## 日常の中の「美術」

## 困っているのは誰でしょう?~教育相談室より~

先日、寒さが身にしみる街中を足早に歩いていると女子高生たちが空に向かってスマートフォンを掲げ、写真を撮っている場面に遭遇しました。夕焼けです。真っ赤な夕焼け空を、思い思いにスマートフォンにおさめています。多分この後、SNSに画像を掲載し、夕焼けの景色を世界中の仲間と共有するのでしょう。夕焼けを見て「美しい」と感じ、その思いを仲間と「共有・共感したい」と思う。これはまさに、リアルな鑑賞活動ではないでしょうか。そして目の前に広がる景色を見て「夕焼け空とビルのシルエットの共演がとても美しい」と感じ、構図を考えて画像に写し取るということも、立派な表現活動になっています。

美術科の学習指導要領の中で「鑑賞は、自然の造形の美しさや、人類のみが為しうる『美の創造』というすばらしさを感じ取り味わい、自らの人生や生活を潤し心豊かにしていく主体的で創造的な学習である」と記されています。中学校における「鑑賞」は、単に知識や作品の定まった価値を学ぶだけの学習ではなく、知識なども活用しながら自分の中に新しい価値をつくり出す学習です。また、「表現」の学習と関連させながら、発想や構想する学習に結びつけるなどして見方や感じ方を深め、鑑賞に関する資質・能力を一層高めていくことも目指しています。日々の授業でも、他者の意見や自分と異なる考え方に触れることで、表現したことや自分の見方や感じ方を再認識したり、新たな発想や構想を得たりできるような活動を工夫することが大切になってきます。

☆ . . : . + , . . : . + , . . : . +

何気ない日常の夕焼けから、一番星が輝く夕闇へと変わりゆく自然の情景を「美しい」と感じる心を、我々教師も大切にしていきたいものです。

教育相談室には、多方面から、「学校に行けなくなった」「学習面で遅れている」「友達と上手く付き合えない」「学校の環境が合っていない」等、年間600件ほどの相談があります。相談の多くが「現状や課題を、すぐに解決する方法や検査はないか」というような内容です。本来、こうした課題の即効薬がある訳ではありません。

さて、「本当に困っているのは誰でしょう?」家族でしょうか?先生でしょうか?周りの友達でしょうか?「なぜ学校に行けないのか」「なぜ勉強が分からないのか」「なぜ友達と仲良くできないのか」「なぜ学校生活が苦手なのか」等、自分の気持ちを上手く表現できずに悩んで困っているのは、子ども本人です。子どもの身近にいる大人が、じっくり時間をかけて寄り添い、子どもの言葉にできない思いを汲んであげることができたら、理解してあげることができたら、子どもの困り感は少しずつ解放されていくと思います。しかし、家族も先生も日々の時間に追われ、子どもの気持ちをじっくり聴くことが難しいのが現状です。そうした時こそ、学校での教育相談だけでは補いきれない部分を、総合教育センターの教育相談に頼ってみてはいかがでしょうか。教育相談室には、電話相談の「すこやか教育相談」と面接相談の「子ども健康教育相談」の2つがあります。「すこやか教育相談」は、土日・休日も含め随時電話で相談ができます。来所できない方にも利用いただけます。また、個人情報を変えたくない方には匿名での相談も実施します。「子ども健康教育相談」は、相談員が保護者やお子さんと面接を行い、悩みや困りごと、疑問や質問などを聴き取り、その後の発達心理検査や専門的教育相談、カウンセリング等に繋げていきます。

ぜひ、困っている子どものために、教育相談室をご活用ください。



## 教育研究発表会より

「すべての子どもの学習権を保障する」これは、講師の大阪市立大空小学校の初代校長木村泰子先生が実践されてきた「みんなの学校」の理念です。令和5年1月13日(金)教育研究発表会第2部において「『みんなの学校』から学ぶ見えない学力の育て方」をテーマに講演会が行われました。みんなの学校で大切にしてくられた「見えない学力」は、「1 人を大切にする力 2 自分の考えをもつ力 3 自分を表現する力 4 チャレンジする力」の4つでした。参観者からは、「今までの講演の中で、初めて涙がでそうなほど、心を打たれました」「今日まで、『みんなの学校』を知りませんでした。木村先生のお話を聞き、子どもたちのために本当に大切なことをもう一度考え直したいと思いました」「木村先生の講演から、自分の日々の生徒との関わり方を変えていくべきだと感じました」「講演会ではとにかく衝撃を受けました。これから教員人生を送っていく上で、この話を知っているか知らないかで考え方や子どもとの見方が変わっていくだろうと思いました」といった感想が寄せられました。教師としての自身の在り方を問い直した方が多く見られました。



校長 木村 泰子

また、第1部の分科会では、市内の各教科等で選出された調査研究委員の実践発表が行われました。教科部会では「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善について発表があり、道徳部会では「考え、議論する道徳」の在り方について、特別支援教育・生徒指導部会では、人との関わりを通して、児童生徒の自己有用感を高める実践について発表しました。「もっと詳しく聞きたかった」などの感想から、充実した内容であったことが窺えます。実践発表に関する授業動画は、Google Classroomに入ると視聴することができます。授業改善のためのヒントとなる部分が必ずあると思われる実践授業です。是非、一度ご覧ください。